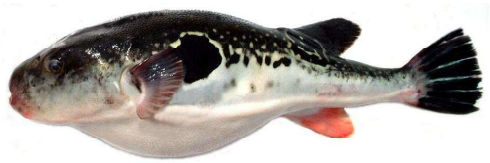
（資料1）

第13回トラフグ資源管理検討会議：2026年11月5日

トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群における資源評価の近況と調査進捗について





平井慈恵
水産機構資源研　底魚資源部

②

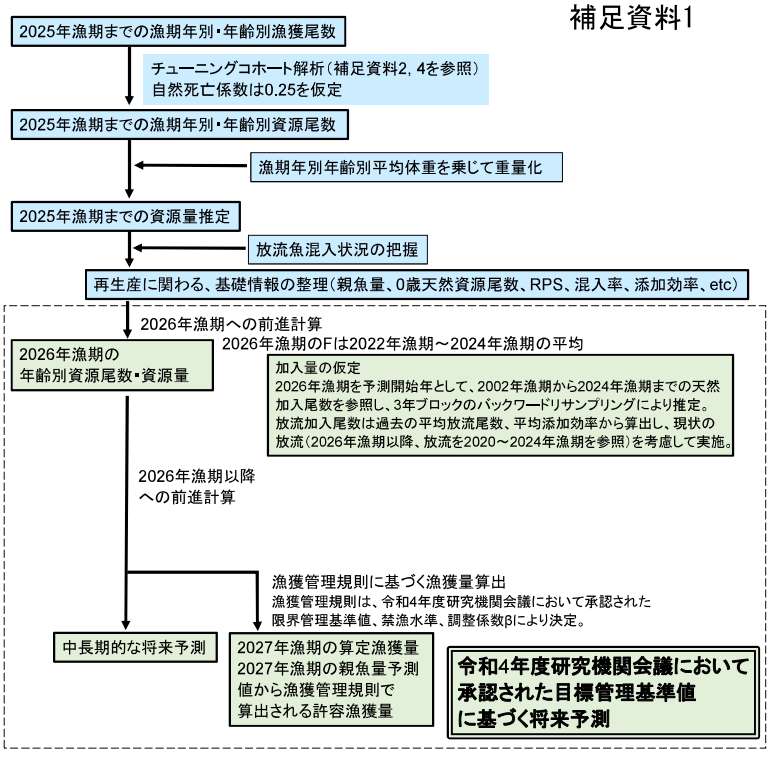
本日の説明資料

1・資源評価結果－1
（漁獲の動向と資源量推定結果）

2・資源評価結果－2
（目標管理基準値案に基づく将来予測）

3・資源評価に関連する
調査・検討の進捗

補足資料1



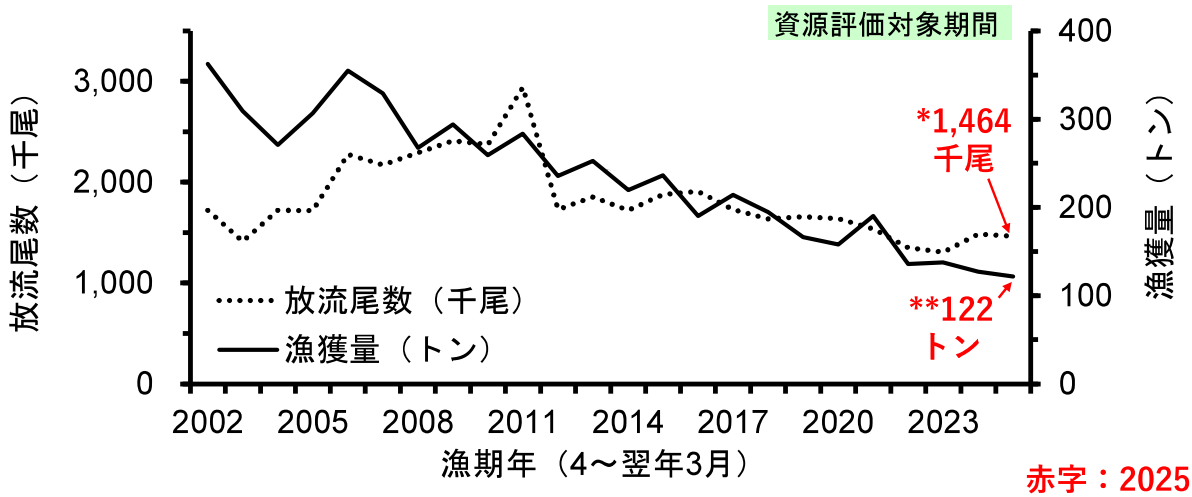
③

１・資源評価結果－１
（漁獲の動向と資源量推定結果）

漁獲の動向
～漁獲の状況～

④

漁獲量と放流尾数の推移



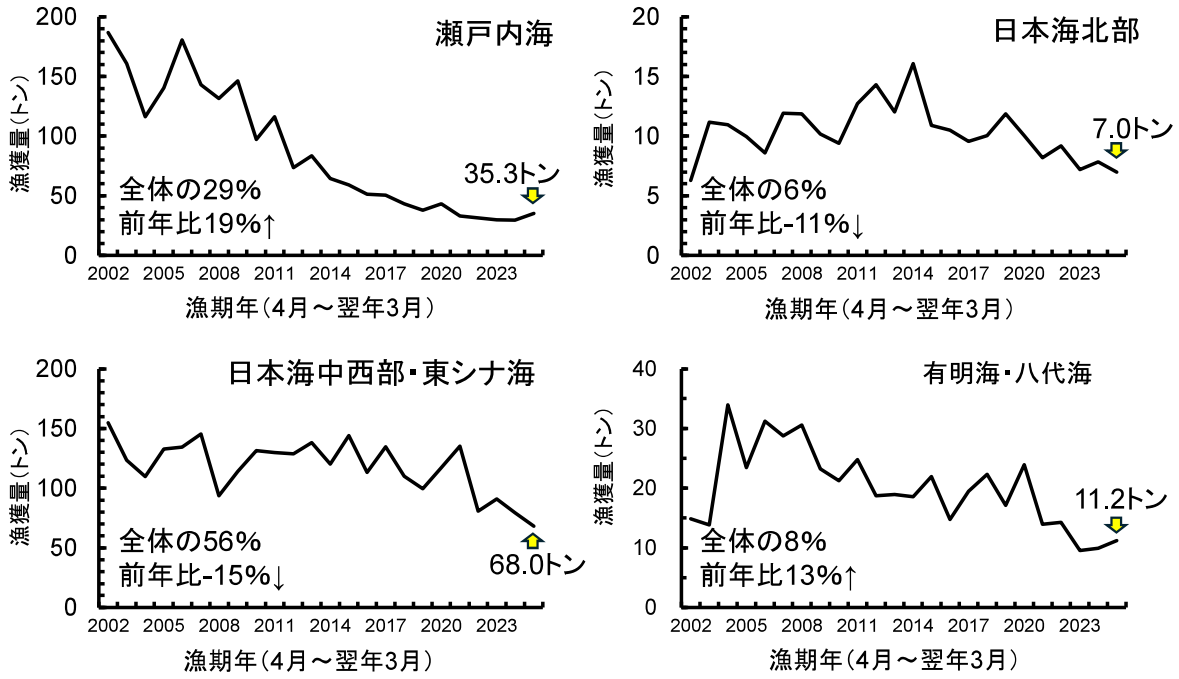
赤字：2025年漁期
*速報値、**概数値

2024年漁期確定値
漁獲量：
131トン→127トン
放流尾数：
148.3万尾→148.4万尾

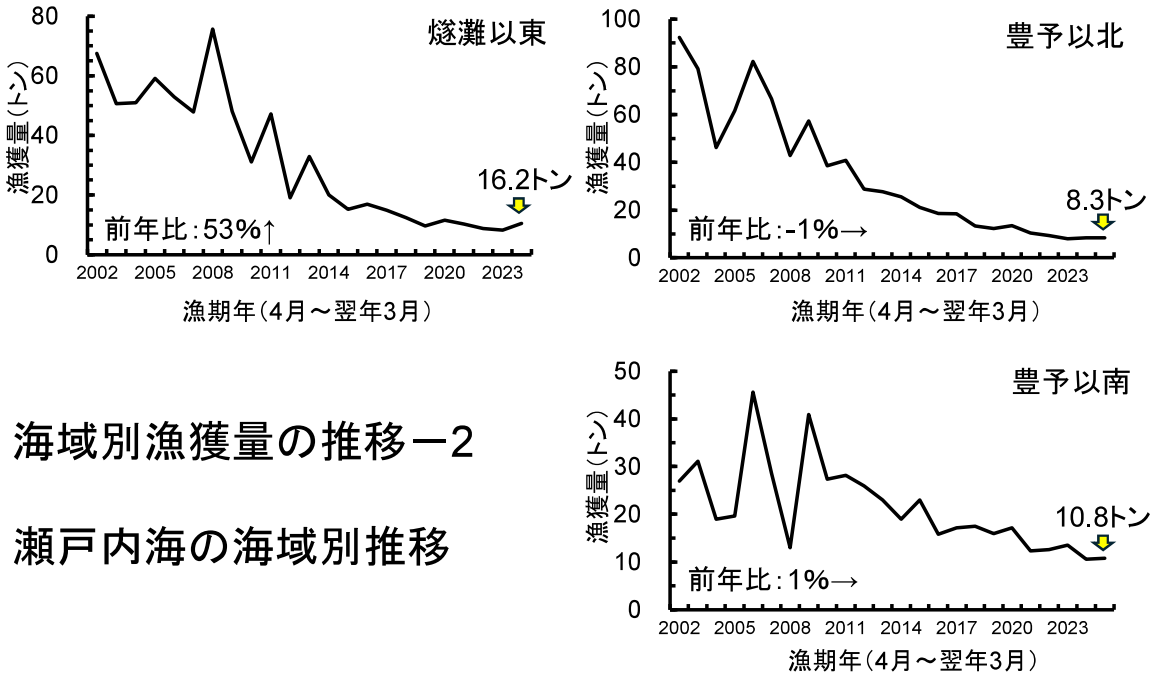
漁獲量は過去最小を更新

海域別漁獲量の推移－1

⑤



⑥



海域別漁獲量の推移－2

瀬戸内海の海域別推移

漁獲の状況（まとめ）

2025年漁期の漁獲量は122トン（暫定値）
（2024年漁期の漁獲量は127トン）

海域別の漁獲動向は、前年比で、

瀬戸内海：＋19%（5.7トン⇧）、35.3トン（全体の29%）
燧灘以東（+53%）、豊予以北（-1%）、豊予以南（+1%）、
日本海北部：6%（0.8トン ⇩）、7.0トン（全体の11%）
日本海中西部・東シナ海：-15%（11.6トン ⇩）、68.0トン（全体の56%）
有明海・八代海：+13%（1.3トン ⇧）、11.2トン（全体の9%）

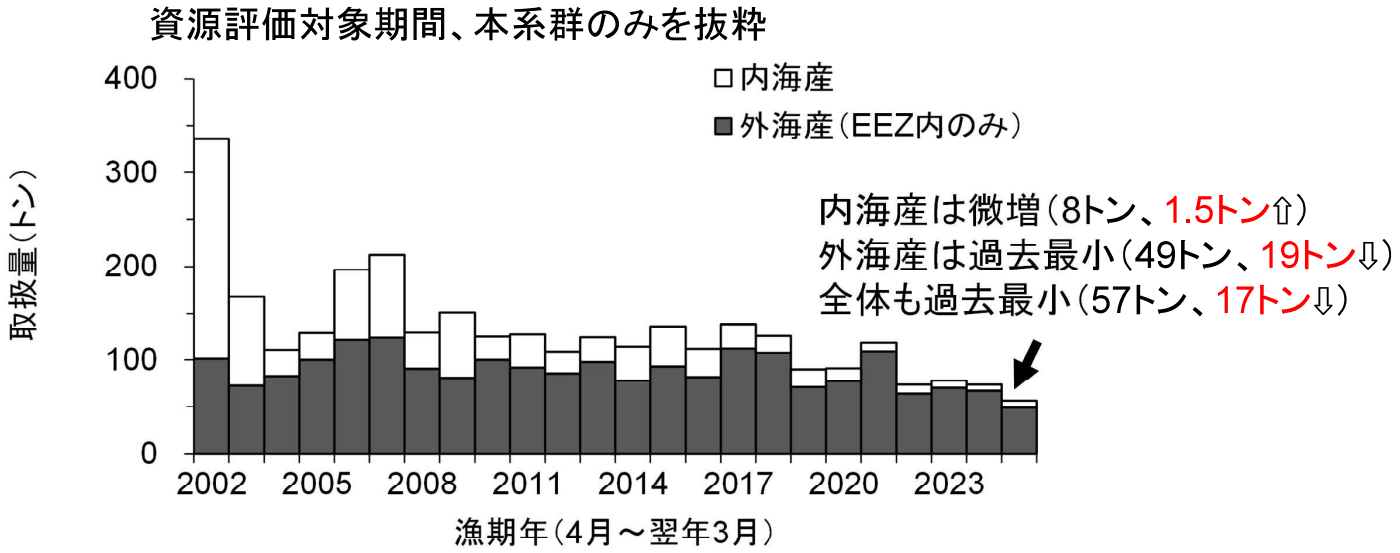
内海・内湾でやや増え、
外海で大きく減ったのが昨年度漁期の特徴

漁獲の効率（努力量・CPUEは？）

２・資源評価結果－１
（漁獲の動向と資源量推定結果）

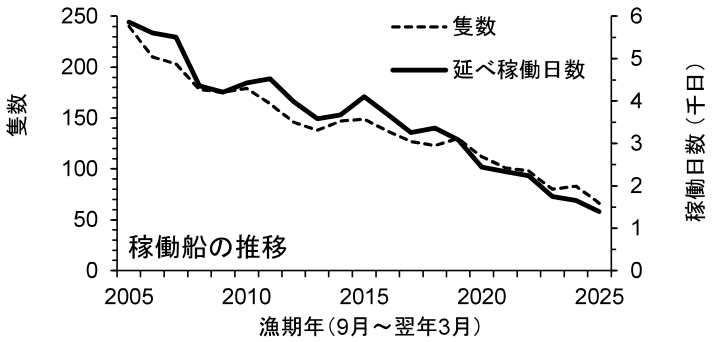
漁獲の動向
～漁獲の効率～

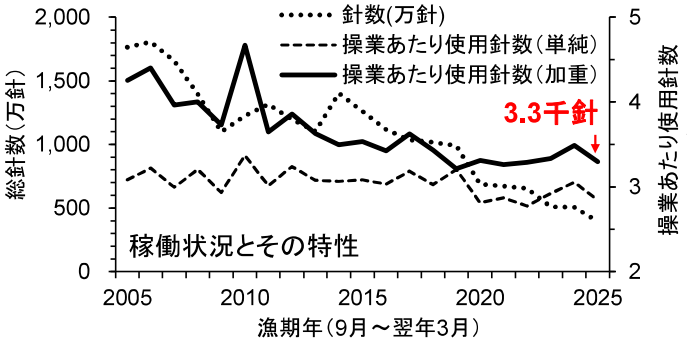
南風泊市場での取扱動向

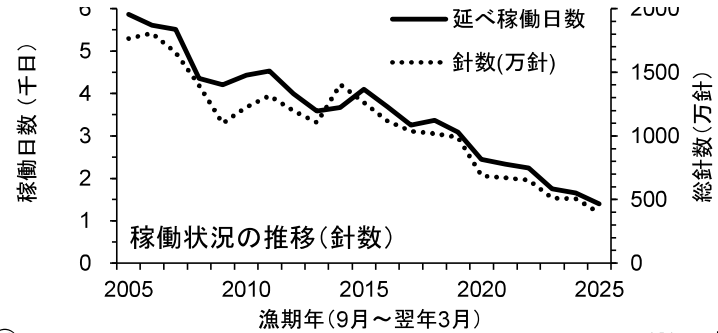


資源量指標値の推移－1　（九州山口北西・はえ縄）

努力量の推移





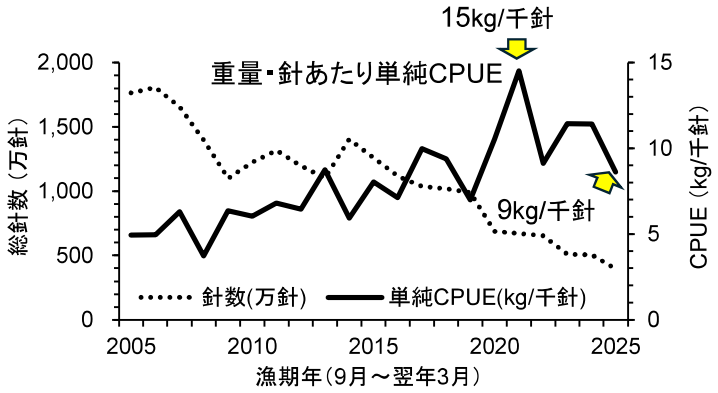


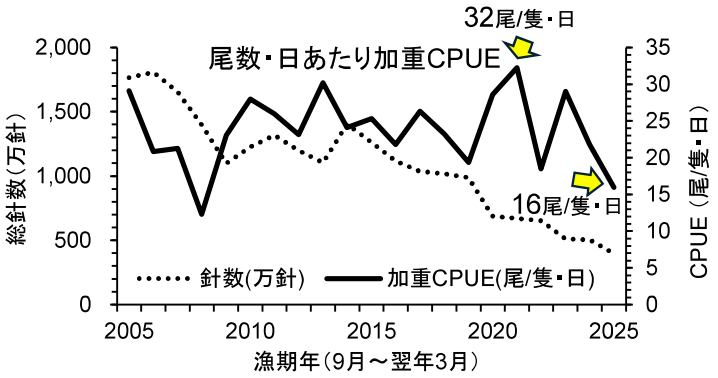
隻数、稼働日数、針数、
いずれも過去最少
平均使用針数も前年比で微減（-6%）。

※日本海・九州西広調委：とらふぐはえ縄漁獲成績報告書より作成

資源量指標値の推移－1 （九州山口北西・はえ縄）

CPUEの推移





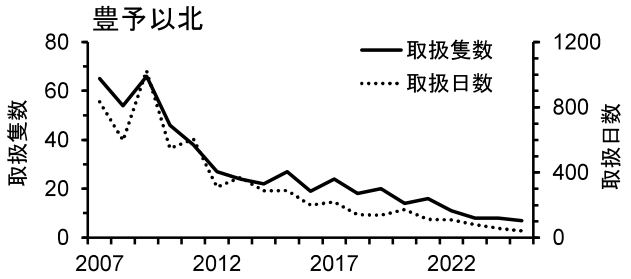
重量単位でも落ちてきた。尾数単位だと過去2番目に低いCPUE。

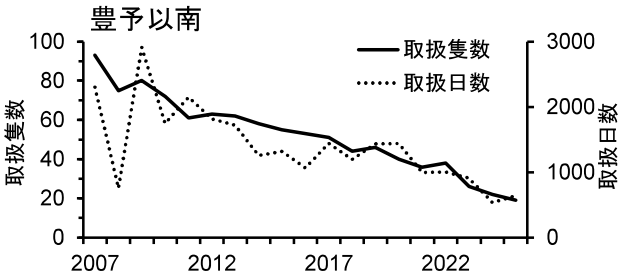
⑪

※日本海・九州西広調委：とらふぐはえ縄漁獲成績報告書より作成

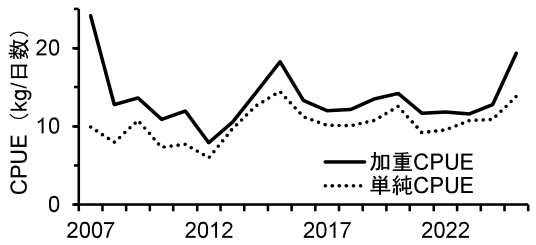
九州山口北西海域以外のCPUE－伊予灘以西（豊予以北・大分県海域・はえ縄と、豊予以南・大分県海域・釣り）

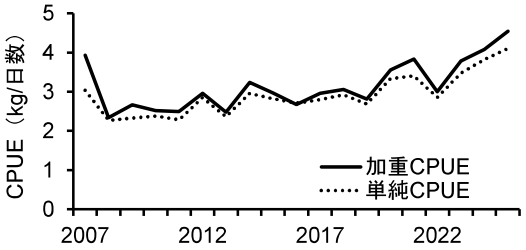
努力量





CPUE





経年的には横ばい、
2025年漁期はCPUEが増加

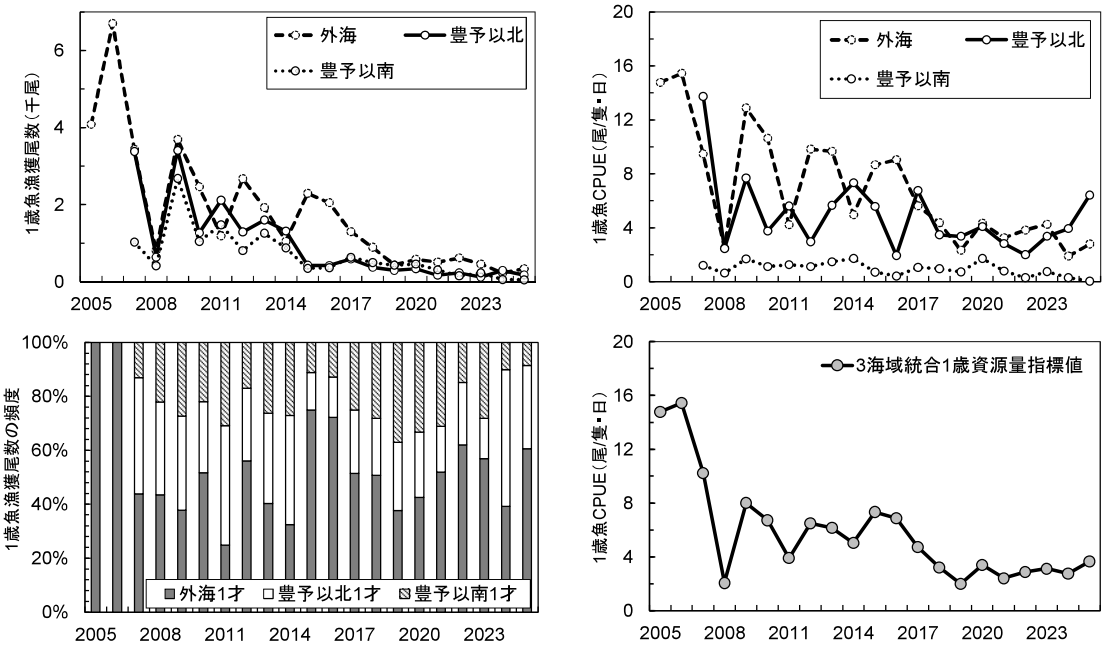
緩やかな上昇

⑫

赤枠：チューニング指標値に利用（1歳）

1歳魚資源量指標値（チューニング指標）の動向

例年、これら3海域で1歳魚の漁獲の9割以上が漁獲される
（2025年漁期は87%）

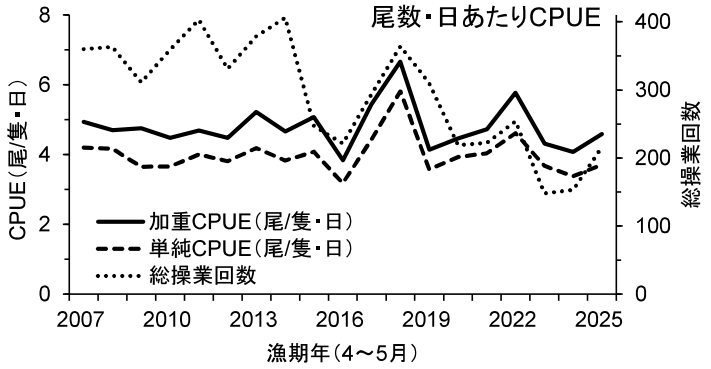


⑬

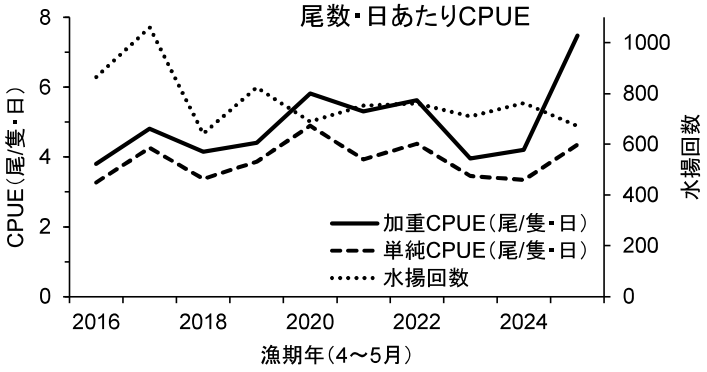
2025年漁期は前年漁期に続き、豊予以北海域での漁獲尾数、CPUEが増加

九州山口北西海域以外のCPUEー（有明海（長崎：釣り）、有明海・八代海（熊本：釣り））

有明海（長崎県海域）



有明海・八代海（熊本県海域）



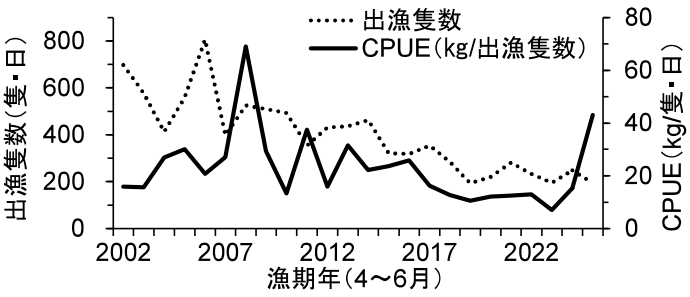
⑭

長崎は横ばいだが、熊本は増加

産卵期

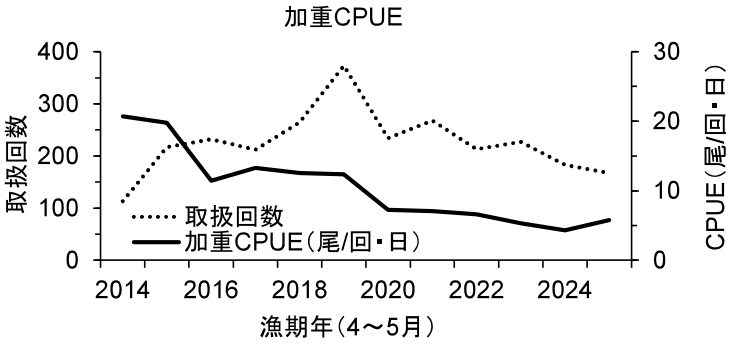
九州山口北西海域以外のCPUEー（備讃瀬戸東部（袋待網）・関門海峡（釣り））

備讃瀬戸東部（香川県海域）



春の産卵親魚が対象。
2年連続で、CPUEが増加
（集計開始以降、過去2位）。

関門海峡（福岡県海域）



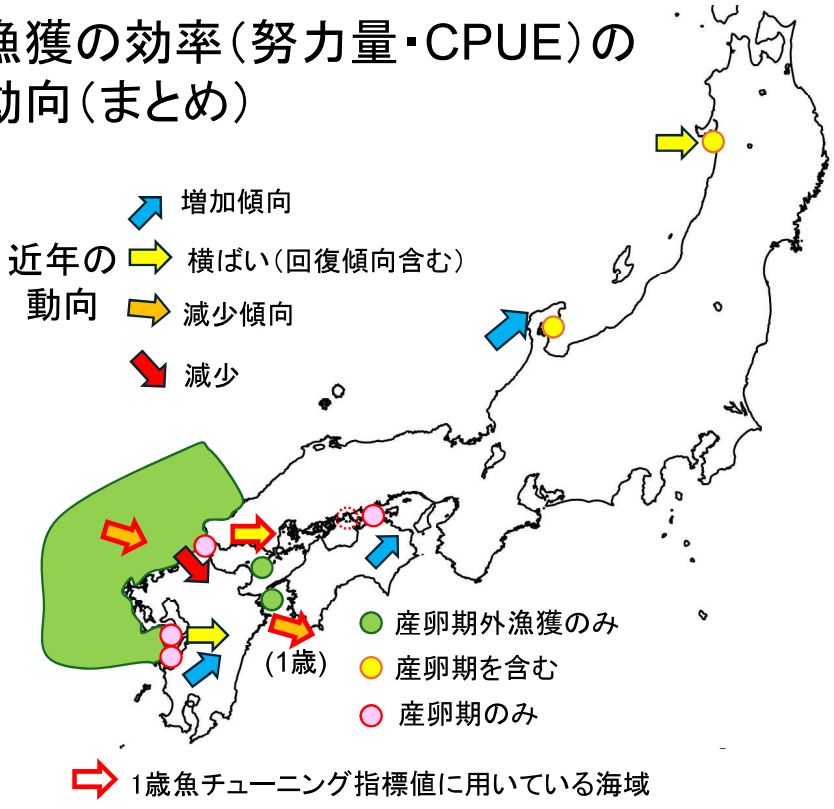
前年に比べてやや増加したものの、
経年的には減少傾向が続いている。

⑮

産卵期

漁獲の効率（努力量・CPUE）の動向（まとめ）

⑯



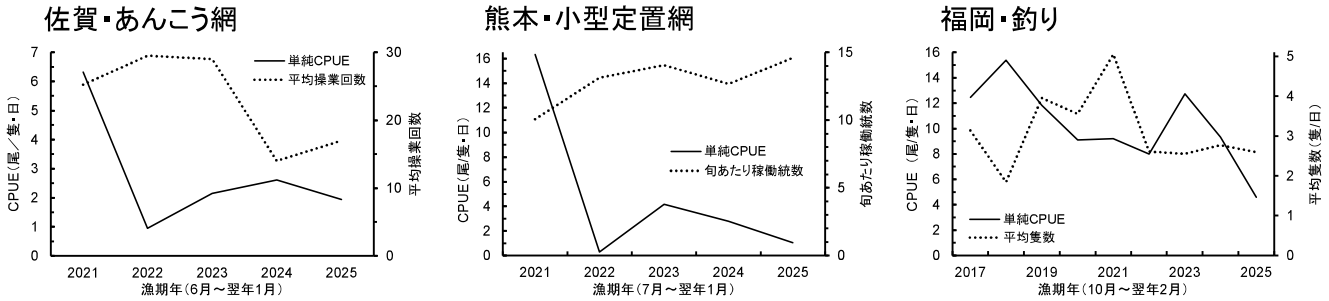
2025年漁期の特徴

・産卵期にCPUEが増加する海域が、これまでより多かった（印象）

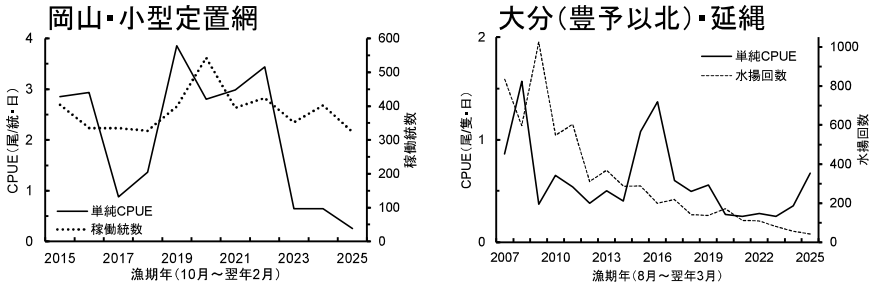
加入に期待？

新規掲載： 当歳魚CPUEについて

有明海



瀬戸内海



これまで参画機関に収集して頂いた標本船調査、取扱量データ（大分）に基づき、CPUEを算定。多くの海域で、CPUEが低下。

２・資源評価結果－１
（漁獲の動向と資源量推定結果）

資源量推定へ
～年齢別漁獲尾数の推移～

⑲

資源評価方法

●全長組成（4～翌年3月）
4～7月、8～11月、12～翌年3月の3期で集計
日本海・東シナ海（2分割）、有明海・八代海、瀬戸内海（3分割）、関門海峡で集計
各海域における各県の月別全長組成を各県の漁獲量を用いて加重平均

← 全長階級値別雌雄割合を用いて雌雄別全長組成に分解
← 雌雄別全長組成を混合正規分布に分解して年齢組成に変換
← 全長一体重関係式によって雌雄別全長組成を重量化
← 海域別漁獲量と重量化された雌雄全長組成の比から年齢組成を引延ばす
← 有明海の0歳漁獲尾数

●年齢別漁獲尾数

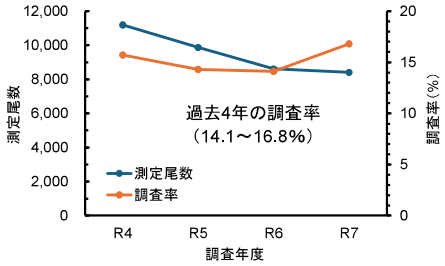
※混合正規分布を用いた年齢分解（0～最大13歳）
4歳以上はプラスグループとして1つのコホートにまとめて資源量推定

← コホート解析（M=0.25、0歳は7月加入）
← チューニング
← 年齢別平均体重を乗じて重量化

●資源量推定

← 放流魚混入状況の把握

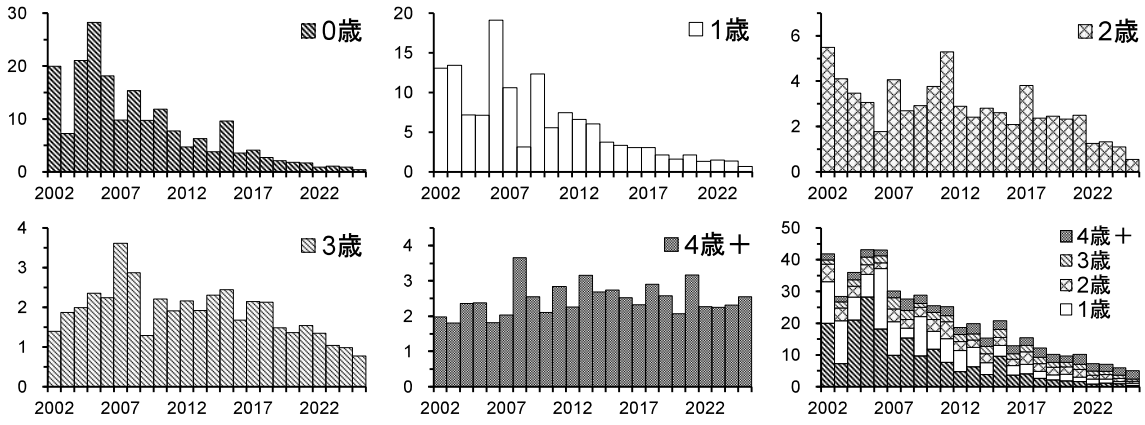
●再生産に関わる、基礎情報の整理（親魚量、0歳天然資源尾数、RPS、混入率、添加効率、etc）



R7年度資源評価調査の
調査率＝16.8%
（8,406／50,410）
いつもご協力
ありがとうございます。

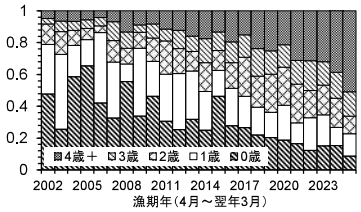
⑳

年齢別漁獲尾数の推移



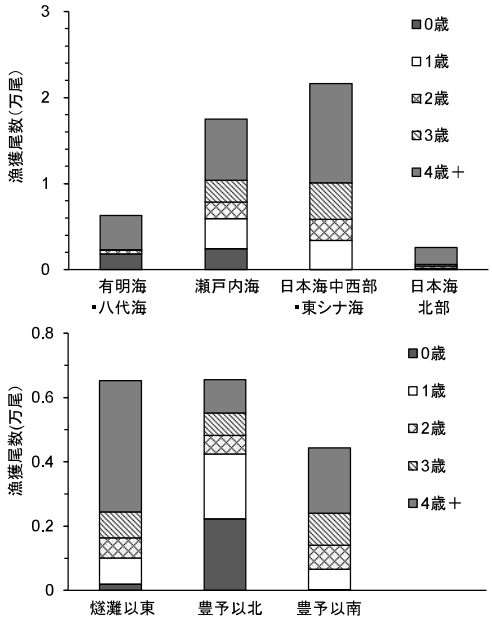
▪2歳が激減、3歳も減少
（加入が良くない時代生まれ）

とうとう4+が漁獲の過半数を超えてしまった。



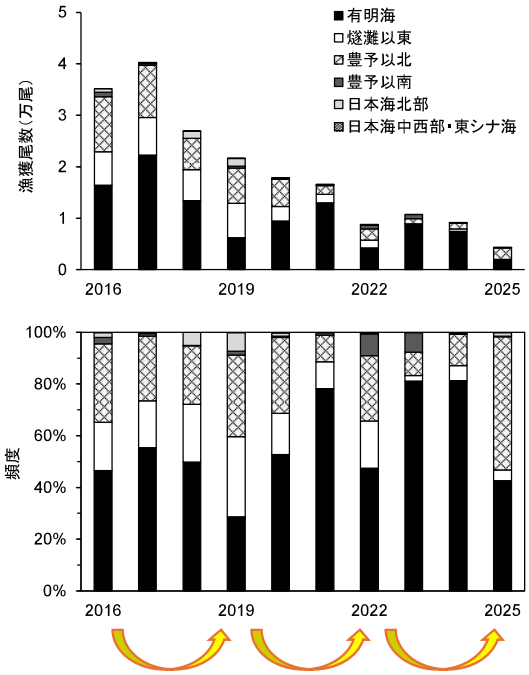
年齢別漁獲尾数の海域間比較と当歳魚漁獲尾数の推移

2025年漁期の内訳



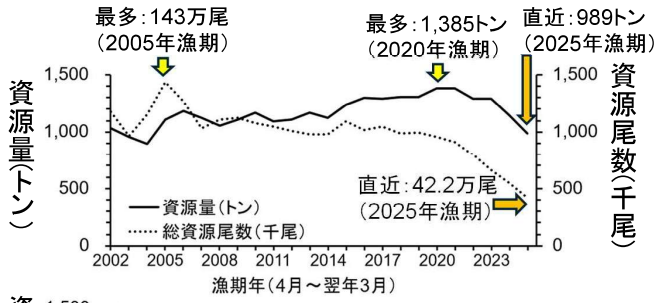
瀬戸内海の燧灘以東の親魚と豊予以北の当歳魚の漁獲尾数が増加。

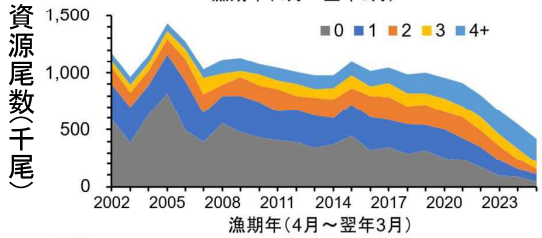
過去10年の当歳魚漁獲状況の推移

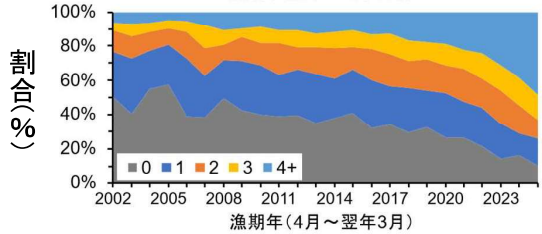


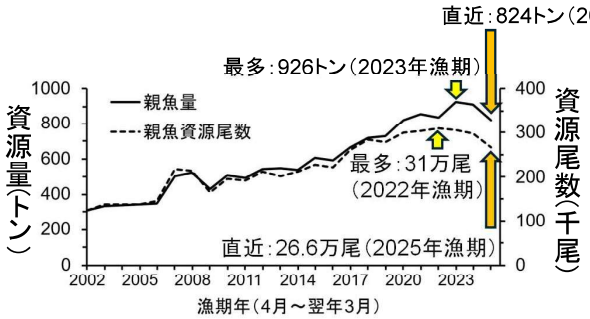
瀬戸内海と有明海の当歳魚の漁獲尾数が逆転
（3年周期）

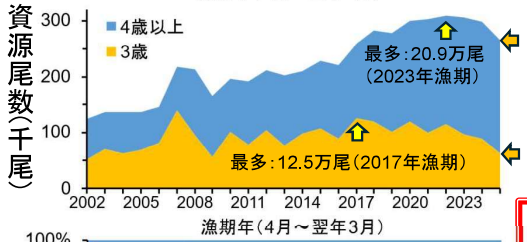
資源量推定結果

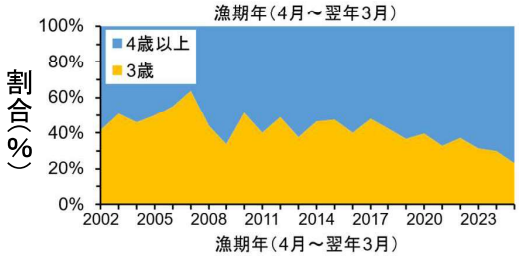








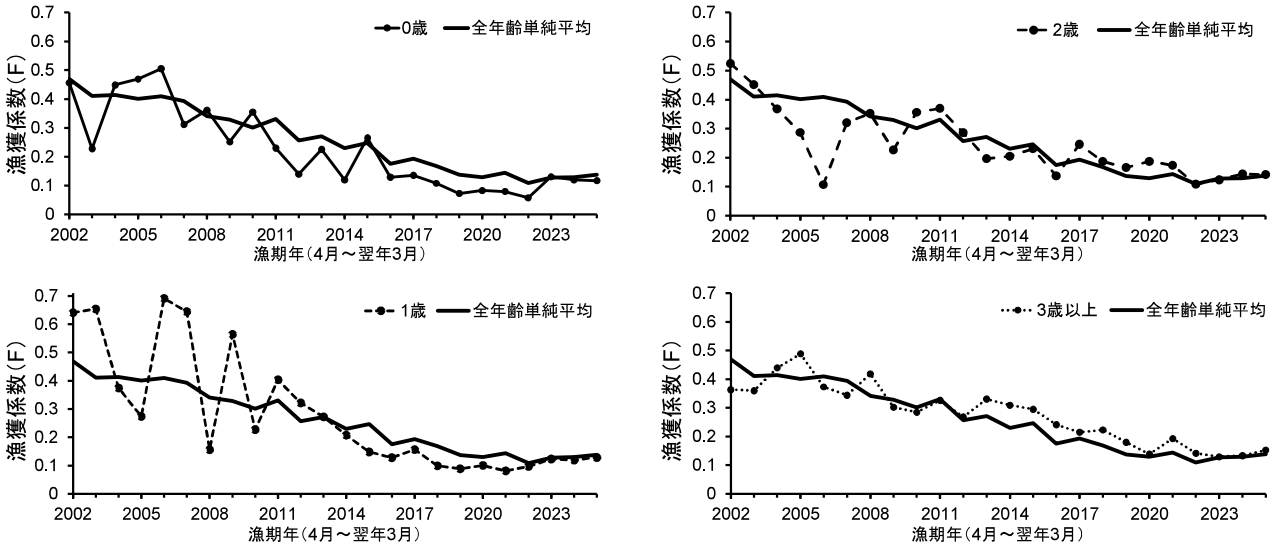




4+がそれなりに残っているので、全体の資源量は上方修正だが、

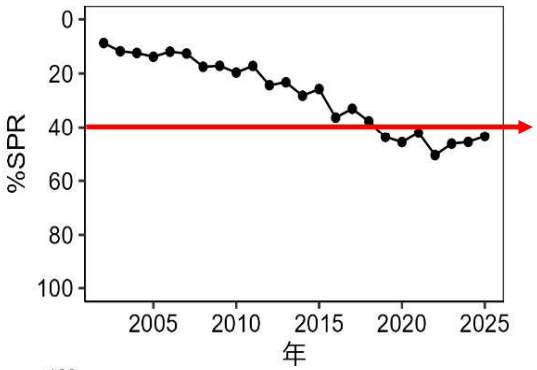
資源尾数は低下
親魚量・親魚尾数も低下が始まっている。

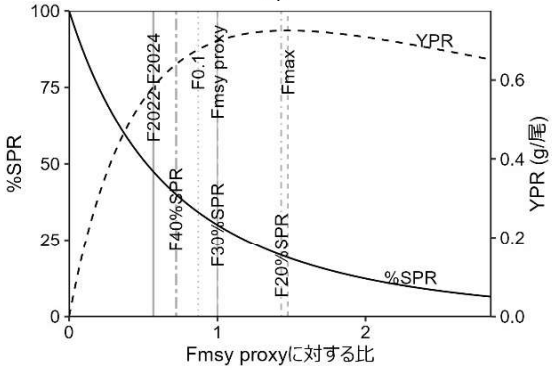
Fの推移

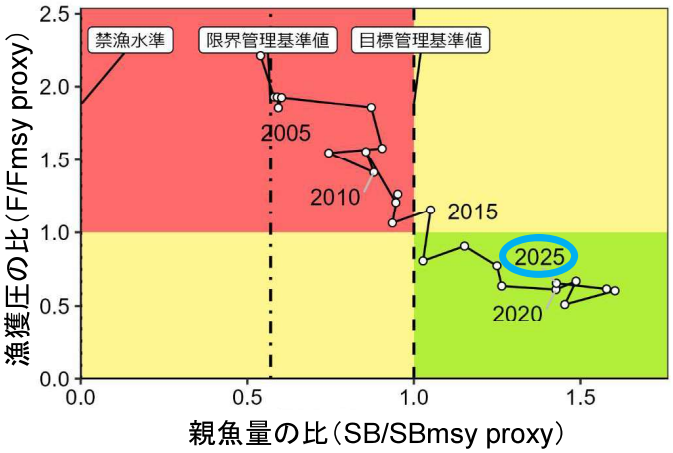


全体的に値は低下だが、低年齢でもFが増加傾向
年齢間のFの差が少なくなってきている（どの年齢も獲れていないせい？）

SPR、YPRの傾向と神戸プロット





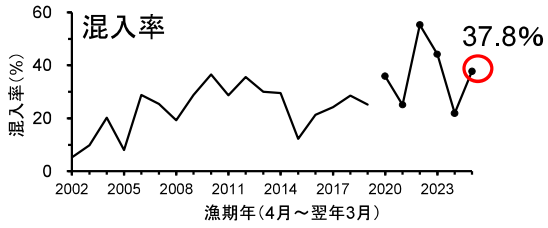


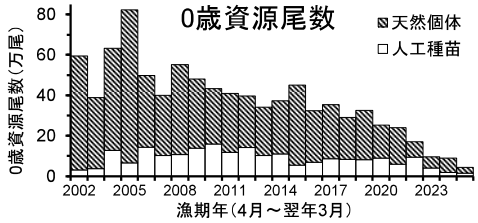
親魚量の見直し→%SPR上昇、YPR低下

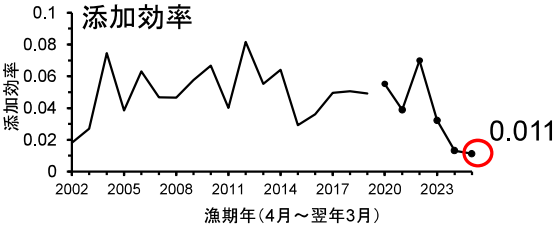
一方、経年変化としては%SPRは低下傾向
神戸プロットはグリーンゾーンだが、SB/SBmsy proxyは低下。

過去の親：上方修正、
現状：親が減り始めている

混入率調査の結果



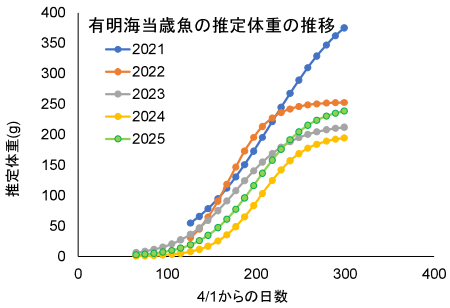




2025年漁期の結果⇒混入率は37.8%

天然、放流、いずれも加入尾数が減少

（**添加効率：過去2年連続で減少**）



2022年漁期以降の平均体重が低下（特に直近3年間）

・当歳魚：極浅海域（水深15m未満）

⇒高水温で痩せた可能性大。

成長不良？　⇒　生き残りにも影響？

なお、去年の加入尾数も下方修正

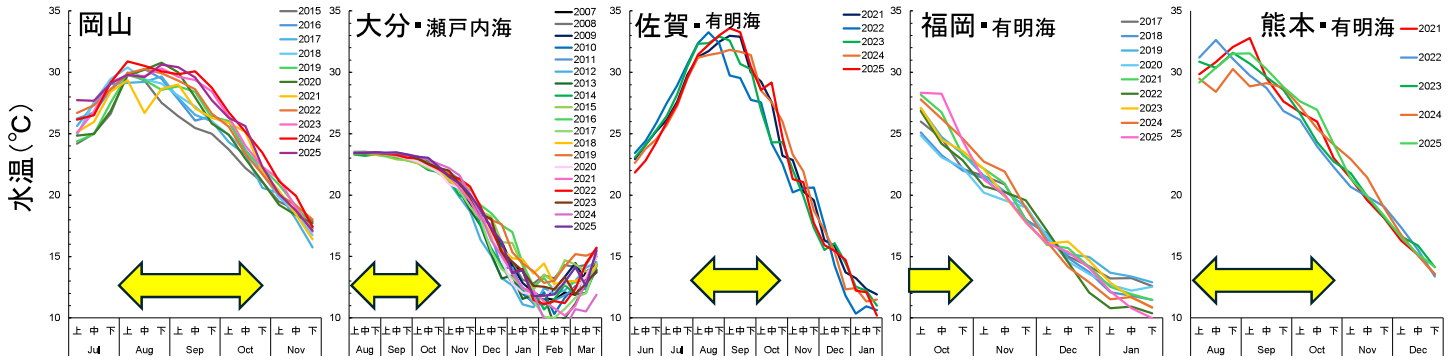
11.3万尾 → 8.9万尾

添加効率も下方修正（0.017→0.013）

0歳資源尾数の減少と添加効率の低下について

各海域の0歳魚標本船調査における月別・旬別平均水温（漁場近傍海域の推定水温）

※大分のみ水深30m深（浅海定線調査とFRA-roms2からの推定値）、他は10m深（FRA-roms2より）



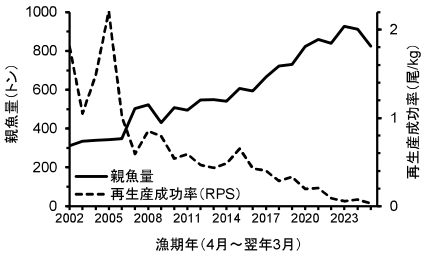
	岡山	大分・瀬戸内海	佐賀・有明海	福岡・有明海	熊本・有明海
漁法：	小型定置網	延縄	あんこう網	釣り	小型定置網
目安水深：	2～10m	30m	5m以浅？	5～15m？	1.5～5m
2025年CPUE：	↓	↑	↓	↓ ※11月から漁獲	↓ ※11月から増加

極浅海域（15m以浅）を漁場とする海域で夏～秋（8-10月）の年変化が大きい⇒CPUE低下。

添加効率の低下にも影響した可能性。

天然加入尾数とRPS、親魚の動向

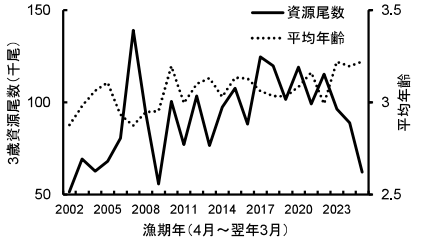
親魚量
と
RPS



RPSは過去最小（0.03尾/kg親魚）。
（加入尾数が過去最小、親魚量は減ったものの高位）
→ ただし直近0歳はチューニング前なので、
来年度改めて検証。

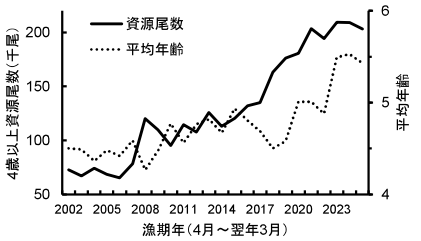
近年は親魚の平均体重増⇒資源尾数の動向を確認

3歳
資源尾数
と
平均年齢



3歳資源尾数（親魚加入年齢）： 2023～2025年漁期
（**3年連続で減少**、加入低下を反映）
3歳の平均年齢：資源評価期間を通じて、緩やかに増加。
⇒漁期の中心が春（産卵期）から秋・冬（主漁期）へ

4歳以上
資源尾数
と
平均年齢



4歳以上資源尾数（親魚加入年齢）： 2023年漁期をピークにやや減
4歳以上の平均年齢：2024年漁期をピークに、2025年漁期はやや減
⇒そろそろ頭打ちかもしれない。

親魚の総資源尾数：2022年漁期がピーク（31万尾）、
2023年漁期からは減少に転じたと考えられる。

ここまでのまとめ

2025年漁期の資源量は989トン、2020年漁期の1,385トンを境に減少。
親魚量は824トン、2023年漁期の926トンを境に減少。
総資源尾数は42.2万尾で過去最小。
親魚資源尾数は2022年漁期の31万尾を境に2023年漁期から減少（2025年漁期：26.6万尾）

2025年漁期の0歳資源尾数は4.3万尾（チューニング前）・過去最小、
2024年漁期（8.9万尾）、2023年漁期（9.5万尾）
⇒2024年漁期、2023年漁期は**チューニングを経て、下方修正**

2025年漁期の放流魚混入率は37.8%。天然由来2.7万尾、放流由来1.6万尾。**RPSは過去最小（0.03）**
放流魚の添加効率は**0.011**。2年連続で0.02未満（2024年漁期は**0.017⇒0.013**、下方修正）

3歳の資源尾数：大きく減少。過去の低加入が反映。
4歳以上の資源尾数、平均年齢：それぞれ2023年漁期、2024年漁期を境に頭打ち。
⇒ **親魚量、親魚資源尾数ともに減少に転じる。**

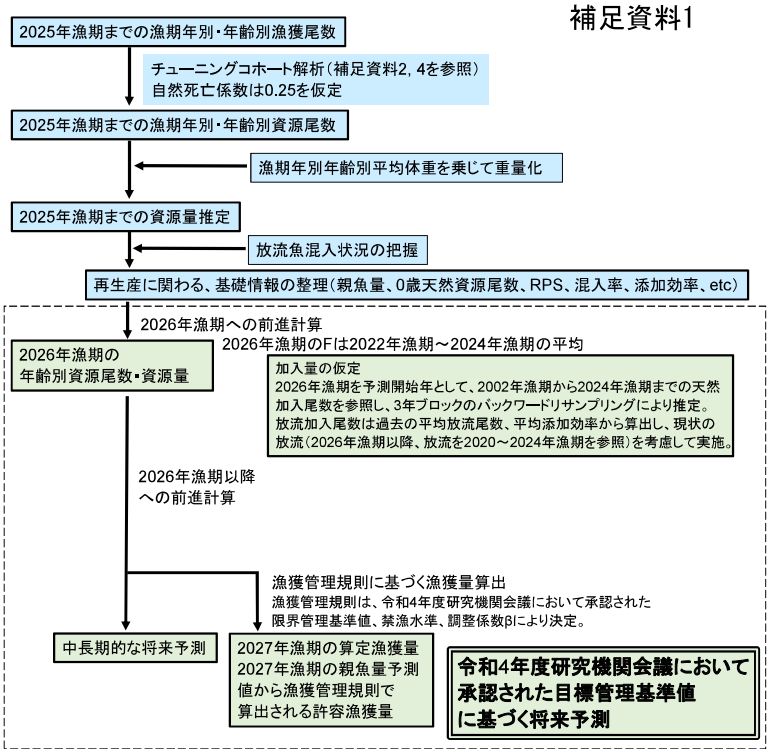
本日の説明資料

補足資料1

1・資源評価結果－1
（漁獲の動向と資源量推定結果）

2・資源評価結果－2
（目標管理基準値案に基づく将来予測）

3・資源評価に関連する
調査・検討の進捗



㉚ 将来予測
～放流考慮：直近5年間の平均放流尾数、平均添加効率～

親魚量の赤字は
過去最低親魚量未満

親魚量

β	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
1.0			377	315	296	288	326	358	376	409	433	445
0.9			387	331	314	306	343	378	400	436	465	481
0.8			397	347	336	328	365	404	428	468	502	523
0.75			402	356	348	342	380	421	447	488	524	547
0.7			407	365	360	357	397	440	468	512	550	574
0.6			418	383	386	388	434	483	515	564	608	636
0.5	663	544	429	403	413	422	475	531	569	624	672	705
0.4			441	423	443	459	520	584	629	691	746	785
0.3			453	445	475	499	570	643	696	766	830	875
0.2			465	467	509	544	625	710	772	852	926	980
0.1			477	491	546	592	686	784	858	950	1036	1100
0.0			490	516	586	645	754	868	956	1062	1162	1239
現状の漁獲圧			428	397	400	402	447	496	530	579	623	653

SBtargetを越える確率

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0			0	0	0	0	0	0	0	3	13	22
0.9			0	0	0	0	0	0	0	7	25	32
0.8			0	0	0	0	0	1	7	23	38	46
0.75			0	0	0	0	0	5	20	34	48	55
0.7			0	0	0	0	1	14	34	44	55	62
0.6			0	0	0	0	10	39	51	64	72	71
0.5	100	0	0	0	0	7	35	57	60	81	86	83
0.4			0	0	11	26	65	75	79	93	94	94
0.3			0	0	55	66	89	92	95	99	99	99
0.2			0	33	55	92	100	100	100	100	100	100
0.1			0	33	100	100	100	100	100	100	100	100
0.0			0	66	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧			0	0	0	0	1	11	32	42	54	61

漁獲量

β	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
1.0		132	110	94	90	96	111	120	128	140	147	153
0.9		120	102	92	90	95	106	115	124	134	142	149
0.8		108	94	87	89	95	102	111	119	127	135	143
0.75		102	90	83	86	93	99	108	117	124	132	139
0.7		96	85	80	83	90	96	105	114	120	128	136
0.6		83	76	72	76	83	89	97	105	112	119	126
0.5	86	70	65	63	67	74	80	88	95	102	108	115
0.4		57	54	54	58	64	69	76	83	89	95	101
0.3		43	42	42	46	51	56	62	68	73	78	83
0.2		29	29	30	33	37	41	45	50	54	57	61
0.1		15	15	16	18	20	22	25	27	30	32	34
0.0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現状の漁獲圧		75	69	67	71	77	82	90	97	103	110	116

SBlimitを越える確率

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0			100	100	55	59	76	75	76	92	91	87
0.9			100	100	100	74	88	86	86	95	95	95
0.8			100	100	100	100	99	98	98	99	99	99
0.75			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.7			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.6			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.5	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.4			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.3			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.2			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.1			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.0			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

㉛ 将来予測（昨年度報告）
～放流考慮：直近5年間の平均放流尾数、平均添加効率～

親魚量の赤字は
過去最低親魚量未満

親魚量

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0			409	370	350	337	358	379	392	428	458	475
0.9			419	388	375	365	387	410	426	464	498	519
0.8			431	408	401	396	422	449	467	508	546	570
0.75			436	418	415	413	441	470	490	533	573	598
0.7			442	428	430	430	461	493	514	560	602	629
0.6			454	449	460	468	505	542	567	618	665	697
0.5	614	514	466	472	493	508	553	597	627	684	737	774
0.4			478	496	528	553	606	658	694	758	818	861
0.3			491	521	566	601	665	726	771	843	911	962
0.2			504	547	607	654	730	802	857	939	1018	1077
0.1			517	574	650	712	802	888	954	1049	1140	1210
0.0			531	603	697	776	882	984	1065	1175	1281	1365
現状の漁獲圧			442	426	426	426	457	488	509	554	595	623

SBtargetを越える確率

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0			0	0	0	0	0	0	0	3	13	22
0.9			0	0	0	0	0	0	0	7	25	32
0.8			0	0	0	0	0	1	7	23	38	46
0.75			0	0	0	0	0	5	20	34	48	55
0.7			0	0	0	0	1	14	34	44	55	62
0.6			0	0	0	0	10	39	51	64	72	71
0.5	100	0	0	0	0	7	35	57	60	81	86	83
0.4			0	0	11	26	65	75	79	93	94	94
0.3			0	0	55	66	89	92	95	99	99	99
0.2			0	33	55	92	100	100	100	100	100	100
0.1			0	33	100	100	100	100	100	100	100	100
0.0			0	66	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧			0	0	0	0	1	11	32	42	54	61

漁獲量

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0		141	124	116	114	117	123	131	141	150	157	162
0.9		128	116	110	111	115	120	128	137	145	152	158
0.8		115	107	103	105	110	115	123	132	139	146	152
0.75		109	102	99	101	107	112	119	128	135	143	148
0.7		102	96	95	98	103	108	116	125	132	139	144
0.6		89	85	86	89	95	100	108	116	123	129	135
0.5	115	75	74	75	79	85	90	97	105	111	118	123
0.4		61	61	63	68	73	78	85	92	97	103	108
0.3		46	47	50	54	59	64	69	75	80	85	89
0.2		31	33	35	39	43	46	51	55	59	63	66
0.1		16	17	19	21	23	25	28	30	32	35	37
0.0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現状の漁獲圧		104	98	96	99	104	109	117	126	133	140	146

SBlimitを越える確率

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0			100	100	55	59	76	75	76	92	91	87
0.9			100	100	100	74	88	86	86	95	95	95
0.8			100	100	100	100	99	98	98	99	99	99
0.75			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.7			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.6			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.5	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.4			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.3			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.2			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.1			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.0			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

㉜ 将来予測
～放流考慮：最直近（2025）の放流尾数、添加効率～

10年後に目標達成でもそれまでにSBlimitを切る可能性がある。

親魚量の赤字は
過去最低親魚量未満

親魚量

β	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
1.0			377	286	245	228	265	297	311	343	363	372
0.9			387	300	259	241	277	311	328	364	388	399
0.8			397	316	275	256	292	327	347	387	415	431
0.7			407	332	293	274	309	347	370	413	447	467
0.6			418	349	315	294	330	370	398	445	484	508
0.55			424	358	326	306	342	384	413	462	504	531
0.5	663	544	429	367	338	319	355	400	430	481	526	556
0.4			441	386	363	348	388	437	471	526	577	612
0.3			453	406	390	380	426	482	522	583	640	681
0.2			465	427	419	416	469	533	580	649	714	761
0.1			477	449	450	454	516	590	645	723	798	854
0.0			490	472	484	497	569	654	720	809	895	962
現状の漁獲圧			428	363	329	306	334	372	397	441	482	509

SBtargetを越える確率

β	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
1.0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.9			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.8			0	0	0	0	0	0	0	0	3	9
0.7			0	0	0	0	0	0	0	4	14	28
0.6			0	0	0	0	0	0	4	16	26	44
0.55			0	0	0	0	0	0	12	23	34	51
0.5	100	0	0	0	0	0	0	3	17	29	40	55
0.4			0	0	0	0	0	9	38	40	50	62
0.3			0	0	0	0	0	30	50	48	65	66
0.2			0	0	0	0	5	49	50	58	81	74
0.1			0	0	0	0	19	50	50	73	83	83
0.0			0	0	0	0	48	50	50	83	83	83
現状の漁獲圧			0	0	0	0	0	0	5	17	26	43

漁獲量

β	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
1.0		127	98	71	59	60	79	91	97	112	117	121
0.9		116	91	70	59	60	76	86	93	108	113	117
0.8		104	84	69	58	59	73	81	88	102	108	112
0.7		92	76	66	58	58	69	76	83	95	102	107
0.6		80	68	60	56	56	64	71	77	88	94	100
0.55		74	63	56	55	55	62	68	74	83	90	96
0.5	86	67	59	53	52	54	59	65	71	79	85	91
0.4		55	49	44	45	48	52	57	63	68	74	80
0.3		42	38	35	36	39	42	47	52	56	61	66
0.2		28	26	25	26	28	31	34	38	41	45	48
0.1		14	14	13	14	15	17	19	21	23	25	27
0.0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現状の漁獲圧		71	61	55	55	58	62	68	74	80	86	92

SBlimitを越える確率

β	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
1.0			100	0	0	0	16	50	50	59	66	66
0.9			100	0	0	0	16	50	50	68	67	66
0.8			100	0	0	0	22	50	50	75	72	66
0.7			100	68	0	0	43	50	50	80	80	68
0.6			100	100	11	0	50	50	50	83	83	79
0.55			100	100	45	0	50	50	50	83	83	82
0.5	100	100	100	100	89	27	50	50	50	83	83	83
0.4			100	100	100	93	88	78	71	89	88	87
0.3			100	100	100	100	100	100	99	100	99	99
0.2			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.1			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.0			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧			100	100	45	0	50	50	50	81	83	82

㉝

将来予測のまとめ：現状の種苗放流を考慮

将来の加入の想定	β	現状の漁獲圧との比	予測平均親魚量（トン） 5年後（2032年漁期）	予測平均親魚量（トン） 10年後（2037年漁期）	予測平均漁獲量（トン） 管理開始年（2027年漁期）	予測平均漁獲量（トン） 5年後（2032年漁期）	予測平均漁獲量（トン） 10年後（2037年漁期）	2037年漁期に目標管理基準値（577トン）を上回る確率	2037年漁期までの10年間に1度でも限界管理基準値を下回る確率
全期間種苗放流を考慮 2027年漁期以降の放流資源尾数は2020～2024年漁期平均(6.7万尾)を 仮定、	1	1.74	326	445	132	111	153	6%	100%
	0.8	1.39	365	523	108	102	143	46%	73%
	0.75	1.31	380	547	102	99	139	53%	30%
	0.7	1.22	397	574	96	96	136	60%	3%
	0.6	1.04	434	636	83	89	126	66%	0%
	0.5	0.87	475	705	70	80	115	67%	0%
	0.4	0.70	520	785	57	69	101	82%	0%
	現状の漁獲圧	1	447	653	75	82	116	66%	3%

現状の漁獲圧（F/Fmsy）＝ 0.57（将来予測に用いている漁獲圧（2022～2024年F平均））

※ただし、あくまでR4に設定した目標親魚量577トンに対しての結果

㉞

将来予測の結果（去年のまとめと対比しながら、赤字＝今年）

・直近5年間の放流条件・添加効率を考慮した結果、
天然のみ（放流考慮なし）では、β＝0.4（補足資料参照）、放流考慮ありでは、β＝0.75で50%以上の確率でSBmsy proxyを達成。（β自体は、去年と変わらない）

・現在の親魚量が考慮され、親魚量の低下は管理開始後（2026年漁期以降）、
3～4年後になる見込み。（2029年漁期以降、SBlimitを切るβが見られる）
（加入が向上していないので、現在の親がいなくなるにつれて親魚量が低下する）

・直近5年の放流考慮の場合、現状の漁獲圧とほぼ同じ漁獲圧で
（β＝0.75、現状の漁獲圧との比：1.05）、10年後に目標達成すると予測される。
（現状の漁獲圧は2025年漁期ではβ＝0.65、低い漁獲圧）
※ 親魚量があると判断されているため、このような結果。
※ 現状の漁獲圧~~とほぼ同じとはなる~~よりも低い漁獲圧だが、
現在も漁場の偏りが生じるように、
系群内の各漁場に均等に来遊することを示すものではない点に留意。

㉟

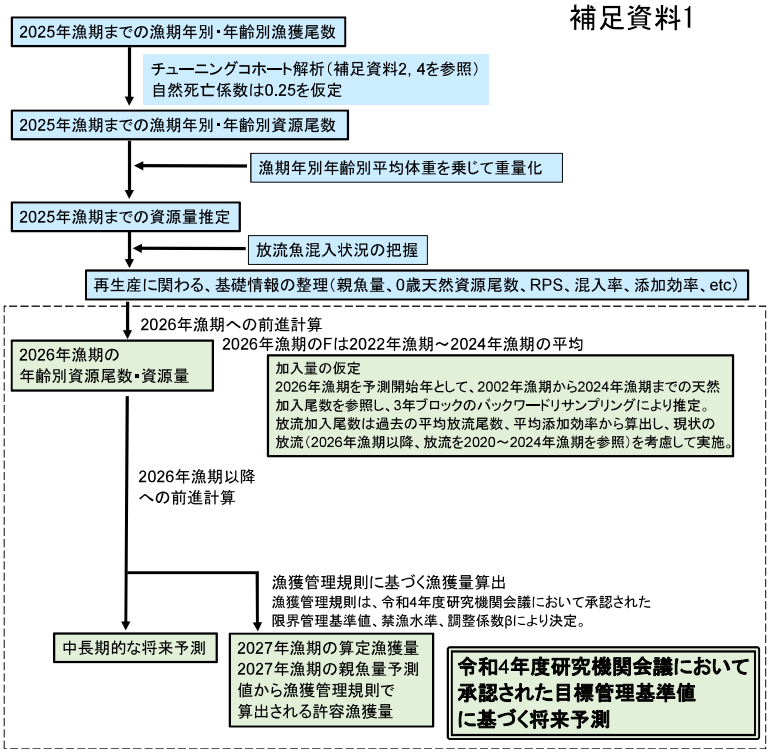
本日の説明資料

補足資料1

1・資源評価結果ー1
（漁獲の動向と資源量推定結果）

2・資源評価結果ー2
（目標管理基準値案に基づく将来予測）

3・資源評価に関連する
調査・検討の進捗
（太平洋中北部海域の調査状況）



㊱

拡大種:トラフグ太平洋中北部海域　R7年度資源評価調査報告書の概要

・昨年度に続いて、2回目の報告書作成、R7年度3月末に公表。web公開済み。

・R8年度報告書（2025年漁期分まで）はこれから。

・既に公開済みの報告書について概要を紹介。

㊲

漁獲量（過去10年分を報告書から抜粋）

漁期年	青森県	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	千葉県	神奈川県
2015	6	3	2		1	6	4
2016	4	3	2	0	0	5	2
2017	4	4	2	0	2	11	5
2018	5	3	3	0	2	13	4
2019	5	3	3	3	3	21	10
2020	3	2	3	6	3	28	8
2021	3	2	6	28	1	25	11
2022	4	3	28	41	3	26	10
2023	3	2	9	39	5	45	9
2024	***4***	***3***	38	***48***	***3***	52	7

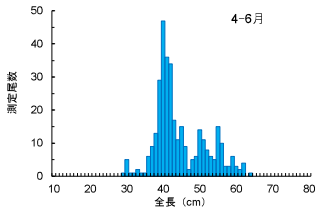
集計開始後の漁期年（4月～翌年3月）について示す。小数点以下は四捨五入で示し、0.5トン未満については0と表記。空欄は記録なし。2024年漁期の太字・斜字体は4月～12月までの集計分と過去3年の1～3月漁獲量平均値の合計による概数値。

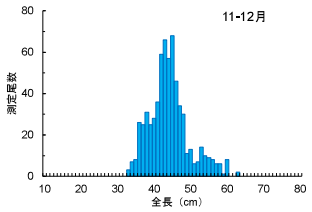
※　系群未確定のため、全体集計は行っていません。
各県の漁獲状況（季節性等）については若干の年変動はあるものの、昨年度、顕著な変化はなし。（詳細は報告書を参照）

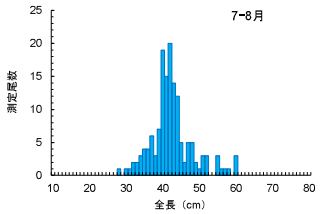
㊳

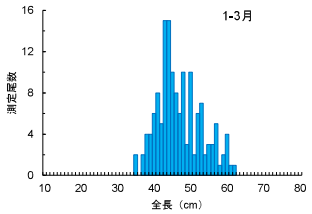
生物情報収集調査（宮城、福島、千葉、神奈川）

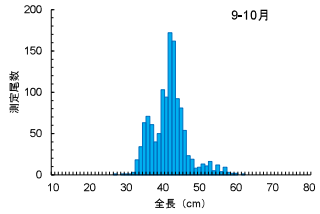
宮城県



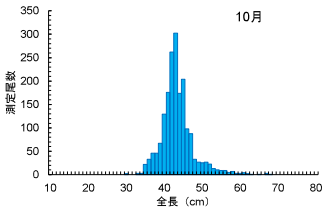


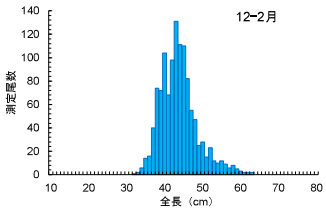


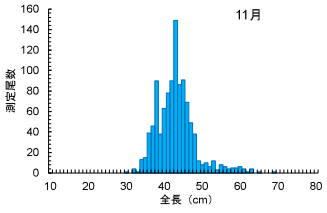




福島県





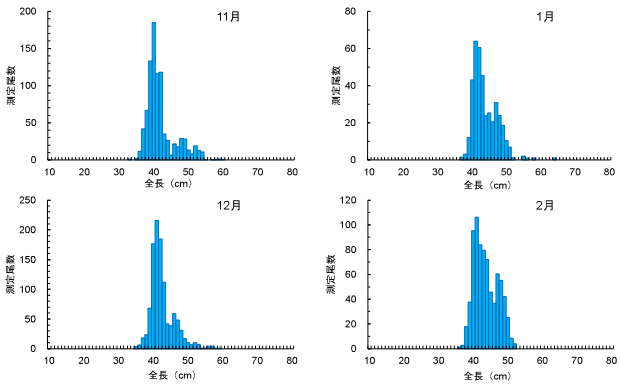


前年度（2023年漁期）に35-40cmにモード→40cm台前半にモード

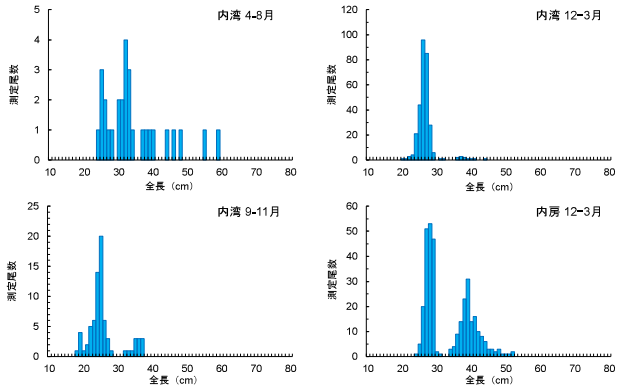
あまり超大型魚（60cm以上）はいない。50cm台もまばら。

㊴ 千葉県

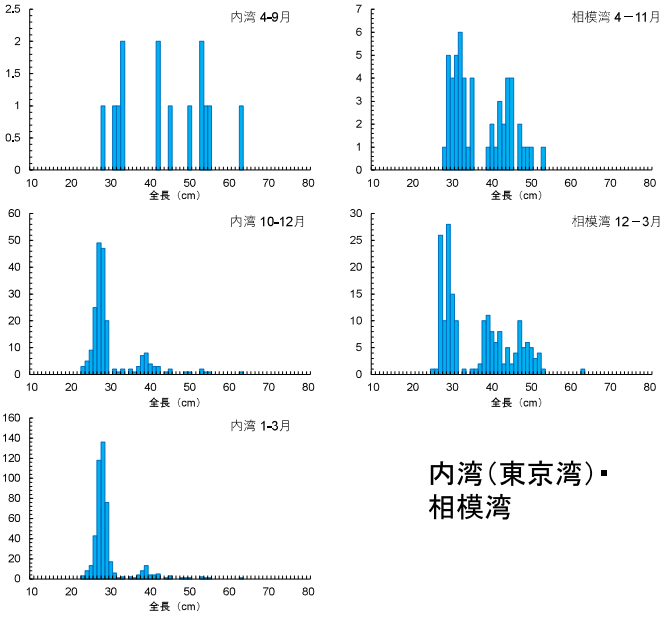
外房



東京湾内湾・内房



神奈川県

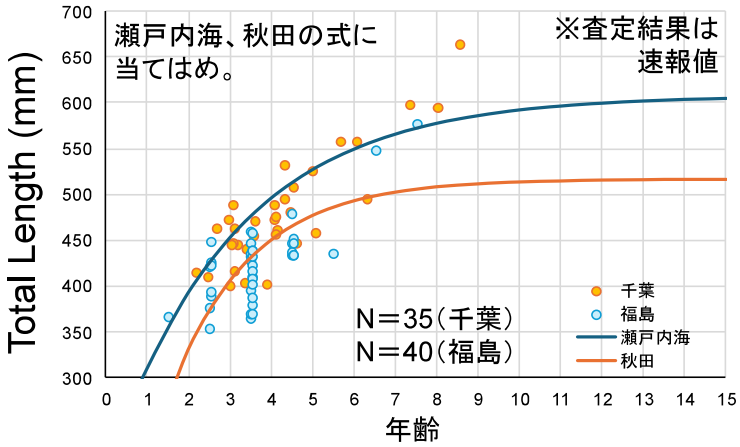


内湾（東京湾）・相模湾

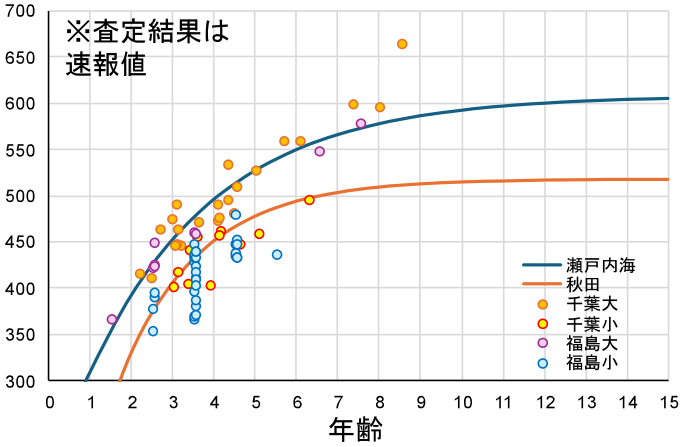
当歳魚（20cm台）が漁獲される。
あまり大型魚の漁獲がない。

㊵ 例：太平洋中北部データをあてはめてみる（千葉35個体、福島40個体の年齢査定データ）

全体を俯瞰



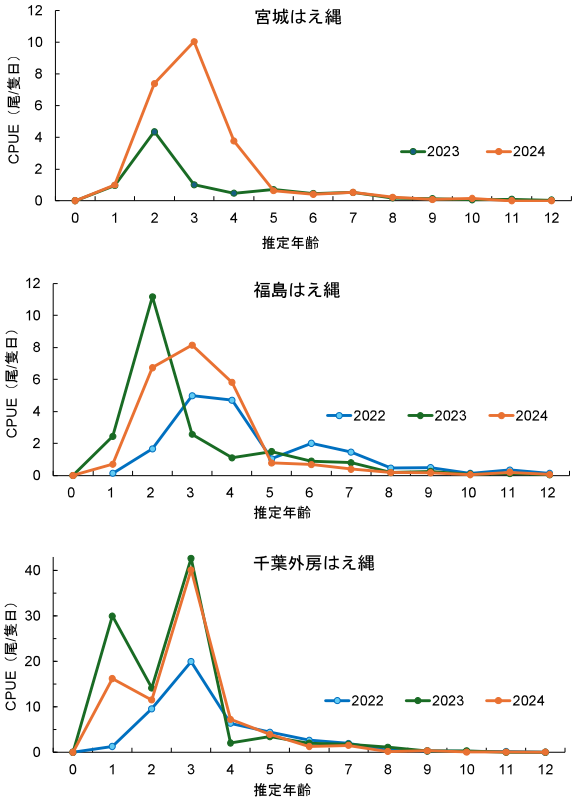
大小を見た目で選別



・暖水由来、冷水由来の2群はありそう
（千葉の1/3ぐらいが冷水由来？、福島の1/4ぐらいが暖水由来？）
・より詳細な検討・選別は、集団解析との照合
・年齢査定→　迅速・簡便な査定方法を要検討（DNAメチル化推定）
（成熟開始時期、開始年齢などへの影響は？）

R7東北底魚会議より抜粋

㊶



検討例（現在検討中の試算結果）

年齢別CPUEに分けてみる。

宮城・福島
→ 2023年に2歳の高加入が3歳へシフト。

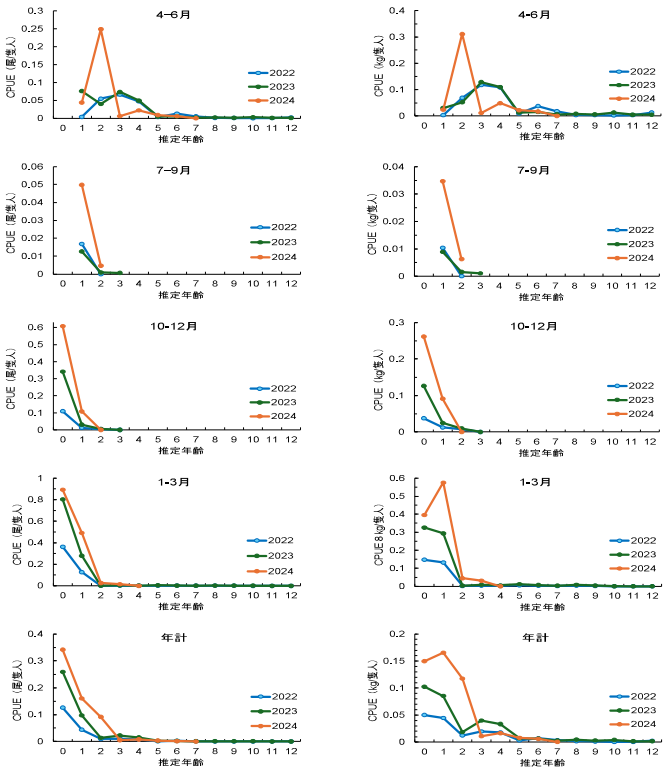
千葉外房

→ 1歳と3歳にピークが分かれる。

同一サイズ（40cm前後）でも、
1歳（大群由来）と3歳（小群由来）
に分かれる可能性が高い。

資源量推定にも影響しそう。
どう分けて推定していくかは今後の課題。
現状はこうした課題抽出。

㊷



検討例（現在検討中の試算結果）

神奈川

遊漁船標本船調査データからの年齢別CPUE

遊漁船の頭部サンプルからの全長推定した全長組成を使用。
年齢分解：大群のみ適用。
（神奈川県の年齢査定→ 大群のみを確認している）
※年齢査定の詳細は今後とりまとめ予定。

思いのほか、小型魚が採られている。
大型魚は、あまりなかった。

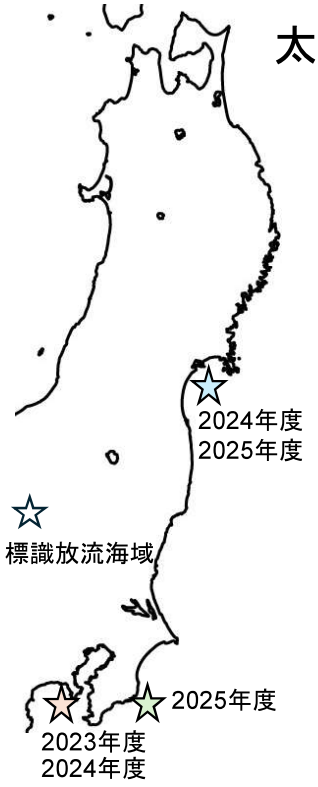
（大型魚が多そうに見えるのはSNSマジック？）

1隻あたり（標本船内）の漁獲は非常に少ない。

→ 近年の遊漁船数の増加（総努力量がかなり重要）
→絶対数としてみると、大型魚も漁獲されているのかもしれないし、そうでないかもしれない。

集計体制については、今後、相談・検討の予定。

太平洋中北部海域における標識放流調査の追跡状況



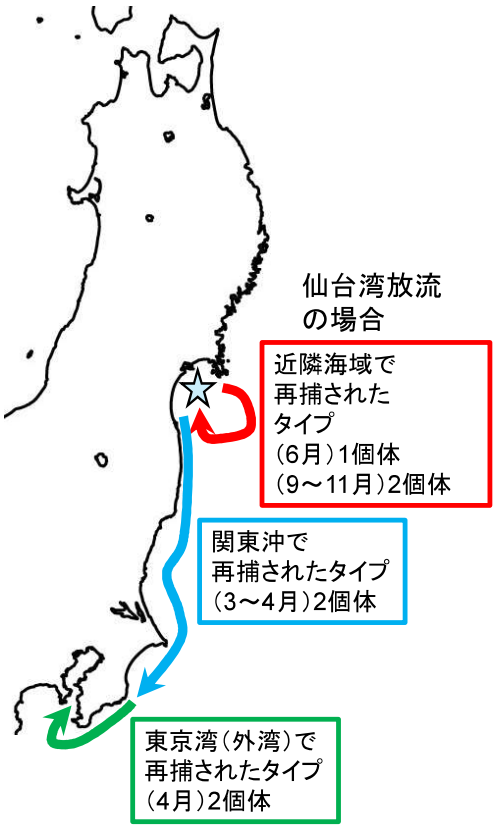
仙台湾（☆）、外房・大原沖（☆）でこれまで実施（水研、宮城県、千葉県）
相模湾（☆）でも実施（神奈川県、漁業者の自主放流も）

再捕日	放流日	タグNo.	放流場所	再捕場所	再捕確認
2025/3/25	2024/10/21	T1312	仙台湾（名取川河口沖）	外房海域（北緯：35°30.443 東経：140°32.982）	千葉県
2025/11/11	2024/10/21	T1335	仙台湾（名取川河口沖）	仙台湾（七ヶ浜支所所属船）	宮城県
2025/11/11	2024/10/21	T1307	仙台湾（名取川河口沖）	仙台湾（七ヶ浜支所所属船）N38°08.446 E141°18.520	宮城県
2026/4/6	2025/10/22	T1348	仙台湾（名取川河口沖）	東安房漁協定置網、ロガー回収	千葉県
2026/4/6	2025/10/22	T1142	仙台湾（名取川河口沖）	千葉県金谷沖（遊漁船）	千葉県（釣獲者）
2026/4/14	2025/10/22	T1346	仙台湾（名取川河口沖）	千葉県大貫沖（遊漁船）	千葉県（釣獲者）
2026/4/11	2026/3/6	T1426	外房・大原沖	千葉県保田漁協定置網	千葉県
2025/10/22	2026/6/12	T1349	仙台湾（名取川河口沖）	相馬双葉漁協（常磐沖）	福島県
2026/9/1	2026/3/6	T1425	外房・大原沖	仙台湾（亘理支所所属船）、ロガー脱落のため、回収ナシ	宮城県
2026/9/16	2025/10/22	T1146	仙台湾（名取川河口沖）	仙台湾（七ヶ浜支所所属船）、ロガー脱落のため、回収ナシ	宮城県
2026/10/13	2023/12/18	T1105	相模湾（神奈川県試験操業）	相馬双葉漁協（常磐沖）	福島県
2026/10/14	2024/12/18	カナガワ208	相模湾（漁業者自主放流）	相馬双葉漁協請戸魚市場（常磐沖）	福島県

放流場所

仙台湾
外房・大原沖
相模湾

この他に、福島県、福島大学、京都大学による標識放流も行われている。







これまでの事例での傾向

秋季：仙台湾・常磐沖で再捕

春季：外房・東京湾で再捕

回収したデータロガー個体の水温、深度履歴（2025/10/22仙台湾→2026/4/6外房・東安房）

